



センター通信

〒 123-0873 東京都足立区扇 1-12-20
TEL (03) 3856-2728 FAX (03) 5939-7880
URL www.wfc.or.jp

第11回 チャリティーバザーを終えて

去る6月19日 第11回青少年福祉センターのチャリティ大バザーを開催し、たくさんの方々の後援者の方々や、ボランティアの皆様にご支援とご協力をいただきまして、無事に終了いたしましたことをご報告申し上げます。

また、毎回会場として場所を提供して下さる聖心インターナショナルスクールには、バザーの次の日まで学校の改修工事を待っていただいたり、何回もの打ち合わせを快く受けていただいたりと多大なるご協力をしていただきました。

私はこの法人に17年勤務させていただいていますが、職員でありながら、どうしてこんな大きな規模のバザーができるのだろうと思っておりました。こんな私がこのバザーの委員長という大役を務めさせていただいたので、力不足で大変ご迷惑をおかけしたと思いますが、たくさんの方々に支えてい

ただき、このバザーが成功することができました。本当にありがとうございました。

これからも利用者みんなが、健やかな生活を送り幸せになることのためにも、今回の反省を2年後のバザーに生かしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

チャリティーバザー担当理事 大屋桂子



入梅したばかりで心配してお天気もバザー当日は晴れ間に見えるいいお天気になりました。バザー開始前から多くの方々が列を作って開場を待って下さっていました。

青少年福祉センターのバザーは私の友人達にも大変好評で新品の物が安く買え、自分達が買うことがチャリティになるという二重の喜びを感じることが出来るバザーだと言ってくれています。

また、お子様向けに、許されることなら私も参加してみたい面白いゲームが出来るお祭り広場や、何を食おうかと真剣に迷う模擬店があり、一日中家族ぐるみで楽しめるバザーだと思います。

ラッフルにも140点近くの賞品をご提供いただきました。バザーの開場案内図に協賛下さいました皆様

のお名前が載っておりましたが、こんなに多くの方々に支えて頂いていることに感銘を受けました。また、出店は10団体に参加して頂きました。ラッフル券10枚に加え売り上げの1割をご寄付いただきました。各団体の皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

普段、約8名のボランティアと週一回扇の倉庫で青少年福祉センターの寄贈品の整理をしています。そのメンバーの中から今回、小池那智子さんと私がバザー委員会の会議に参加させていただき、全体のお手伝いをさせて頂きました。次回も良いバザーになりますようにみんなで力を合わせて楽しく準備をしていきたいと思っております。

チャリティーバザー担当 吉村加寿代

☆センターの店



雑貨売り場は大賑わい



外国の方もお越いただきました



新品衣類の袋入れ放題も好評でした



沢山お買いもの頂き、感謝いたします

☆リフレクソロジー

リラクゼーションコーナー「ハンドリフレ」は、今回が初めてのコーナーでした。

お買物に疲れた来場者の方が、ほっとひと息できるコーナーがあれば…という発案から始まり、日本リフレクソロジスト養成学院様、株式会社生活の木様の協賛を得て、実現することができました。

当日は、午後になるにつれて数人待ちが出るほど、たくさんのお客様に恵まれました。ハンドリフレは手への「リフレクソロジー」ですが、椅子に座ってこれを受けている10分の間に、あまりにも気持ちが良くて眠ってしまわれる方もいらっしゃったほどでした。

終わった後のハーブティーも、フルーツの甘い香りで、おいしい、飲みやすいと好評をいただきました。

来場者様に喜んでいただいたのはもちろんですが、ハンドリフレをしてくださったボランティア様か

らも、たくさんの方に施術できるよい機会だったとのお声をいただき、コーナーは大成功することができました。今回のノウハウを生かし、今後もバザーの名物コーナーになっていけたらと思います。

(リフレクソロジー担当：おうぎ寮 杉山)



☆食品コーナー



昨年よりバザーの準備を進めてきてからあつという間に当日を迎え、至らない点も多々ありましたが盛大なバザーを開催することができました。

飲食コーナーの担当として準備万全であると意気込んでいましたが、当日は思いがけない状況に直面し当惑することもありました。たくさんの方々に助けを頂きながら、曲がりなりにも無事役目を果たすことができました。

「何はともあれ無事に終わって良かった!」と、ほっと胸を撫で下ろしています。

チャリティ大バザーに参加する度素晴らしいと思うのは、“普段と違う寮生の姿”です。

普段の寮生は職員に甘えたり、わがままを言ったりと頭が痛いこともたまにあります。バザー当日は朝早くから職員と共に行動し積極的に活動してくれました。

会場の片付けが終わる夕方まで、一生懸命働いてくれた寮生たちには感服します。

来場して下さった皆様、バザーのお手伝いをして下さった皆様、バザーに関わった方全員に感謝致します。
(食品担当：清周寮 平木)



☆センターの店



雑貨は、いつも大人気!



新品衣料も格安にて販売!

☆ホワイトエレファント



いつも大人気のホワイトエレファント

☆スタンプラリー



赤レンジャーを探してスタンプゲット!

☆ラッフルコーナー



自分の番号当たるかな

☆喫茶コーナー



コーヒー・ケーキいかがですか

☆お祭り広場



お祭り広場はキッズでいっぱい

☆出店コーナー



さまざまな市民団体が参加

ラッフルの景品やお祭り広場の景品、またセンターの店の商品等は、沢山の企業様より御寄附頂いたものです。本当にありがとうございました。この

場を借りて、厚く御礼申し上げます。皆さまのお気持ちで、このバザーは成り立っています。今後とも、どうぞご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

第十一回チャリティーバザー収支のご報告

収 入		支 出	
寄附金	1,099,200	通信費	117,800
ラッフル券事前販売	2,939,500	消耗品費	12,495
ラッフル券当日販売	176,300	印刷費	73,682
センターの店	1,344,986	交通費	61,454
食品	238,870	材料費	102,778
ホワイトエレファント	868,939	謝礼	15,000
喫茶	64,050	保険	11,250
ハンドリフレ	24,500	郵便振替手数料	10,490
お祭り広場	87,200	雑費	84,286
出店	44,525		
収入計	6,888,070	支出計	489,235

(2010.7.7 現在)

自立援助ホーム清周寮の様子（定員女子15名）

入所している児童は、寮の近くのさまざまな場所で、一生懸命仕事に励んでいます。例えば、マツキヨ、食品スーパー、シャトレゼ、お菓子のまちおか、などです。中には、将来のペンキ職人を目指すべく、職業訓練校に通いながら、夜はアルバイトをしている頑張り屋さんもあります。頑張り屋さんといえば、二つの仕事を掛け持ちしている児童も4人います。昔は男の仕事であった引越屋さんをしている児童もいます。彼女は朝5時起床で頑張っています。その力持ちさんを見ていると、いまは性別による仕事の垣根がなくなってきたのを感じます。

先日、児童を連れて、東京ディズニーランドに行ってきました。毎日仕事を頑張っているのだから、たまには休日出かけて、日常を忘れるのもよいことだなと感じました。夏には、山にキャンプに行きたいなと思います。

4月に他事業所から異動してきた男性職員2名も、女子のパワーに圧倒されながらも、やっと慣れてきた様子です。アルバイトを含め職員8名、食事ボランティアさん1名、学習ボランティアさん1名の合計10名のスタッフで、これからも頑張っていきます。どうぞよろしくお願い致します。



自立援助ホームおうぎ寮の様子（定員6名）

2005年に、定員6名のホーム（男女混合）を開設してから、おかげ様で5年が経ちました。現在4名の男子と2名の女子が入居しており、和気あいあいと生活をしています。

日中に、ITの職業訓練高校に男子1名、事務の訓練校に女子1名が通っています。その他に、フィリピンから来日して、日本語学校に通っている児童もいます。



来年春に、保育の専門学校入学を目指している男子は、まず8月の高卒認定試験に合格すべく、仕事の合間をぬって勉強をしています。それぞれが自分の夢に向かって、確実に一步を踏み出しています。

6月27日に、食育を兼ねて、みんなで割烹料理屋に行きました。（価格は趣旨をご理解いただき、激安にしてくれました。感謝!）板さんが、いけすから魚を出し、包丁を入れ、その場で食べさせてくれました。寮生の一人は、「魚の首が切れてるのに、くちパクパク動いてる!」とびっくりしていました。

夏には、寮生が積み立てているお金も使い、平和学習旅行と題して、広島を訪れる予定にしています。戦争と平和について、考えてもらう機会となれば良いと思います。

寮生が未来に、自分の力で幸せを勝ち取れるよう、これからも精一杯支援していきます。どうぞよろしくお願い致します。

自立援助ホーム新宿寮の様子（定員男子15名）

ヘルパー2級の資格を取って、訪問介護の仕事をしている男子がいます。とても頑張っていて、介護の仕事にやりがいを感じているようです。

朝5時台に起きて、仕事を頑張っている寮生も2名います。造園業の見習いと清掃業ですが、明日の職人を目指して、一生懸命です。

ゴールデンウィークには、映画を観に行ったり、西武園ゆうえんちに遊びに行ったりもしました。夏には、伊豆諸島の神津島へ二泊三日で、海水浴に行く予定です。いまから楽しみにしている寮生がたくさんいます。

毎月1回、第三土曜日の夜に、近くの落合第二小学校体育館を借りて、運動をしています。バスケットボールやバドミントンなどで、日頃の運動不足を解消しながら、ストレス解消にもなっています。

寮生のバースデーには、職員手作りのケーキを囲

みながら、みんなで祝っています。毎回とてもよい雰囲気のバースデーパーティーになります。

これからも、職員総出で寮生を支援していきますので、どうぞよろしくお願いします。



ノエルの様子（共同生活援助）

清周寮で当時、18歳では 独り立ちをするまでには到らない精神を病んだ利用者の為にグループホームをと立ち上げたのがノエルです。

本体に4室、近くにアパートを2室 を借りて合計6名の利用者が生活できるようにと法人の職員が始めました。そして、2007年には法人の1事業所となったのは、皆様ご存知の事と思います。

今春ノエルは、場所を東伊興に移し出直しをしました。駅にも近くなり、和室と洋室があつて、5名の利用者が住める日差しがたっぷりの2階建ての一軒家です。そこに常勤と非常勤の世話人を1人ずつ配置し、毎日利用者のお世話をしています。

法人としては、障害者自立支援法に基づいて、共同生活援助ノエルが、養護施設や自立援助ホームから独り立ちを直ぐには出来ない利用者や、一旦独り立ちはしたものの、途中で破綻しそうになってしまっている卒寮生が羽を休める場所として、利用

できれば良いと考えています。数年前は精神障害者手帳を持っている利用者が多かったセンターですが、近年は知的ボーダーが増え、就職をしても自立をするまでに、今まで以上に時間が必要な利用者があるのも現状です。彼等にとってプラスαのノエルでの4年間の生活で、自立を確実にして行き、今秋には同じ障害者支援法の中で、知的障害者の為の共同生活援助が出来るようになっていく予定です。

今後とも皆様の暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



児童養護施設 暁星学園の様子（定員36名）

最近、裏の梅林が無くなり、秋には戸建住宅が建築されるようです。園生の部屋から望めたのどかな風景が、もう見られないと思うと、少し淋しい気持ちになります。

今年4月に新卒4名の職員を採用しました。最初は児童の対応に戸惑っていた場面もありましたが、最近やっと慣れてきた様子です。

ゴールデンウィークには、園生を連れて、富士急ハイランドや富士サファリパークに行き、また、シルバークアクセサリー制作も行いました。自分のイメージに合わせて造作できたので、とても楽しかったようです。夏には、毎年恒例の2泊3日のキャンプに行きます。園生も自然に触れるよいチャンスですので、いまからワクワクしています。

現在、大学進学を目指して、猛勉強をしている児童がいます。彼は、将来メーカーに就職し、商品開発に携わることが夢なのです。そのために大学でマーケティングを勉強すると、受験勉強を頑張っています。サッカーの全国大会に、出場が決まった男

子高校生は、毎日夜遅くまで、部活動を頑張っています。日中に週5日アルバイトをして、夜に定時生高校に通っている男子は、就職活動にも一生懸命です。目指す企業に就職が決まるように、みんなで応援しています。

園生それぞれが持っている目標を、職員全員で支えていくように日々努めています。

今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。



児童養護施設 あけの星学園の様子（定員20名）

今年の4月より、2階男子フロアを小規模グループケアとして運営を開始しました。小規模グループケアとは、虐待などにより心に深い傷を持つ子どもたちに対し、職員との個別的な関係を重視したきめ細やかなケアを提供するため、家庭的な環境の中で小規模グループによるケアを行う体制のことです。また、3階の職員宿舎を利用し、自立訓練棟を設置しました。自立訓練棟とは、自立間近な高校生に、一人暮らしをイメージし、自立に向けた訓練をするための部屋です。そこには冷蔵庫・洗濯機等が設置しており、アパート生活を疑似体験できるようになっています。これらすべての改善は、園生が施設退所後も安心して暮らしていけるためにはどうしたらよいか職員みんなで考えた結果です。

こでまりホームは3月で開設1周年を迎えました。現在は6名の児童が生活しています。

ゴールデンウィークには、富士樹海と田子の浦へ旅行に行きました。那須やエステ体験に行ったグループもいました。夏休みは海水浴やキャンプに行く予定です。

現在22名の職員が、園生の支援をしています。

この6月で新人職員が2名加わり、合計24名と大所帯となりました。まだ慣れない新人職員も含め、精一杯園生の支援をしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



平成 21 年度 決算書 (資金収支計算書 一部抜粋)

(単位：円)

勘定科目		本部	暁星学園	あけの星学園	清周寮	おうぎ寮	新宿寮	ノエル
経常収入	行政からの収入	0	220,249,776	133,048,624	33,342,983	19,172,368	37,313,022	1,519,847
	利用料収入	0	0	0	2,408,000	1,488,000	3,300,000	809,159
	寄付金	14,283,949	299,900	421,734	1,741,950	757,050	1,503,000	1,013,000
	雑収入(受取利息含む)	1,847,972	3,205,952	2,176,939	2,540,380	595,032	1,611,458	42,864
	繰入金収入	8,500,000	3,725,400	818,156	3,088,355	8,880,755	5,040,400	5,123,000
	収入計	24,631,921	227,481,028	136,465,453	43,121,668	30,893,205	48,767,880	8,507,870
経常支出	人件費支出	192,150	127,033,917	86,073,921	33,493,747	21,907,780	37,641,580	4,145,675
	事務費支出	16,068,626	23,384,265	15,430,675	3,320,896	1,542,557	3,958,119	4,628,928
	事業費支出	0	42,879,910	23,544,089	4,423,571	2,001,105	5,809,952	398,398
	借入金利息支出	0	1,882,400	0	0	0	420,000	0
	繰入金支出	26,676,066	7,000,000	1,500,000	0	0	0	0
	支出計	42,936,842	202,180,492	126,548,685	41,238,214	25,451,442	47,829,651	9,173,001

※ 本部から以下の経理区分へ本部の寄付金を財源として運営費等に充当されています。今年度は寄付金収入のみでは足りず、前期までの貯金を取崩して補填しています。

	暁星	あけの星	清周寮	おうぎ寮	新宿寮	ノエル	合計	
金額	3,725,400	818,156	3,088,355	8,880,755	5,040,400	5,123,000	26,676,066	＞ 本部 寄付金 14,283,949
内容	借入金返済	20年度修正(東京都指導により)	運営費補填	運営費補填	運営費補填及び借入金250万補填	運営費補填		

平成 22 年度を無事に迎えることができました。後援者の皆様、関係者の皆様、センターをお支え頂いております企業の皆様に、厚く御礼申し上げます。

センター職員も、少ないながら年に1回、ミニバザーで自助努力をしています。今年の秋には、足立区扇で昨年同様に、ミニバザーを開催予定にしています。日程が決まりましたら、ホームページ等でお知らせ致します。このほか、ボランティアの皆様と共に、職員も各地域でのバザーに参加をして、資金集めに努力しています。決算報告書にある、雑収入の主なものは、それらの収益です。

皆様の長年にわたるご支援があつて、自立援助ホームは、やっと措置費という国の確かな財政支援の枠に入ることができました。専務理事の長谷場が、1958年に開設した「憩いの家・アフターケアセンター」から52年が経ちました。困難な状況にある高齢児童は、いまでもその数は減りません。むしろ複雑化しています。職員は日々、児童が抱える問題を共有し、解決に導いていくように、共に努力しています。青少年福祉センターは、今後も、児童が幸福な将来を掴み取れるように、全力で支援して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

H22年の4月より、中川愛子を本部職員として採用し、業務を行っております。皆様から頂いたお電話に、中川が対応させて頂く場面があるとは思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

編集後記

バザーの様子がわかりやすいように、写真を多く掲載しました。今後も、見やすく伝えるをテーマに、通信を発行します。皆様のご意見をお待ちしております。

暑い日がつづいています。熱中症にはくれぐれもお気をつけくださいませ。(坂井)

本部電話：03-3856-2728

メール：2728@wfc.or.jp

◎ 出産ラッシュ! ◎

職員の赤ちゃんが沢山生まれています。今年生まれた赤ちゃんは、ざっと6人になります。なんと三つ子が生まれたところもあります。育児をするメンズのことを、「イクメン」と呼ぶそうですが、仕事でも育児をしている職員ですので、イクメン能力は高いはずですね(笑)皆様も職員のイクメンの両立を応援してください。どうぞよろしくお願い致します。

